

# Spiritualism News Letter

2005  
第 29 号

4月1日発行

スピリチュアリズム・ニューズレター

発行/スピリチュアリズム・サークル 心の道場

発行人/小池里予

〒441-3141 愛知県豊橋市大岩町字北山468-1

TEL 0532-41-0537 FAX 0532-41-8257

ホームページアドレス <http://www5a.biglobe.ne.jp/~spk/>

今号の目録

- ・永遠の霊性進化の道と、一瞬の地上人生  
“永遠に生きる”ということの深い意味を再確認しましょう…………… 1
- ・高級霊界によってもたらされた“2つの一番”  
——スピリチュアリズムとシルバーバーチ……………10
- ・“ライブドア騒動”を霊的視点から見ると……………26

## 永遠の霊性進化の道と、一瞬の地上人生 “永遠に生きる”ということの深い意味を再確認しましょう

シルバーバーチは、あるとき次のように言っています——「大切なのは、人間が永遠なる魂であり、地上生活はその永遠の巡礼の旅路のほんの短い、しかし大事な一部なのだ」という事実を知ることです」  
(シルバーバーチ1・43)

私達は、人間が永遠的存在として造られ死後も存続すること、そして地上人生はその死後の世界（霊界）への準備をする場所であることをすでに学びました。

人生の目的は至って単純です。霊の世界から物質の世界へ来て、再び霊の世界へ戻った時にあなたを待ち受けている仕事と楽しみを享受する資格を身につけるために、さまざまな体験を積むということです。そのための道具としての身体をこの地上で授けてもらうというわけです。この地上があなたにとって死後の世界に備える絶好の教訓を与えてくれる場所なのです。  
(シルバーバーチ1・45)

しかし正直なところ——「人間は永遠的存在である」「地上人生はその永遠の生活の準備をする所である」というシルバーバーチの言葉の深い意味を、今日まで実感することなくきたのではないのでしょうか。ここでもう一度、私達が永遠的存在であること、そして地上人生はその中のほんの一瞬の出来事であることを確認したいと思います。

### 1 || 永遠の個的存在として造られた人間

#### 人間のみが死後も存続する

神は“霊の大海”から一滴を取り出し、ミニチュアの神・分霊とされました。それが私達人間なのです。そしていったん個別性を与えられた人間は、その後、永遠に生き続けることとなります。私達は真理を通じて、死後も霊界で生活することを学びました。地球上には百数十万種もの生命体が存在しますが、その中で人間のように、死後も個性を持ったまま永遠に生き続ける存在は他にありません。何と驚くべきことでしょうか。無数の生命体の中で、人間だけに永遠性が与えられているという事実は、宇宙最大の謎であり神秘です。

私達が人間として生まれたということは、神のすべての創造の業の中で、きわめて特別な出来事と言えます。その私達を、神はこれから永遠に、自分の子供として愛してくださるのです。それを思うと、言葉に言い表せないほどの感動の思いが湧き上がってきます。

### 永遠に生き続ける人間

ここで、私達の想像力を最大限にまで働かせてみましょう。今地上で生きている私達は、いつか必ず死を迎えることとなります。ある人にとってはそれは20年後のことかも知れませんが、別の人にとってはわずか数年後のことかも知れません。大半の地上人は、霊界があることを知らないために“死”を最大の不幸・最大の悲劇と考えます。そして少しでも死を先送りにしたいと必死になっています。しかしどのような人間も、やがて死を迎え霊界入りすることとなります。

さて、肝心なのはそこからです。私達は、霊界でどのくらい生き続けるのでしょうか。100年、200年だけでないことは、スピリチュアリストなら誰でも知っています。1000年、2000年で私達の魂が消滅するようなことはありません。それどころか1万年後も10万年後も100万年後も、さらには1億年後も私達は霊界で存在しているのです。そして、その後もずっと生き続けます。“死”という終わりは永遠にやっつこないのです。これが——「人間は永遠的存在として創造された」ということの意味なのです。

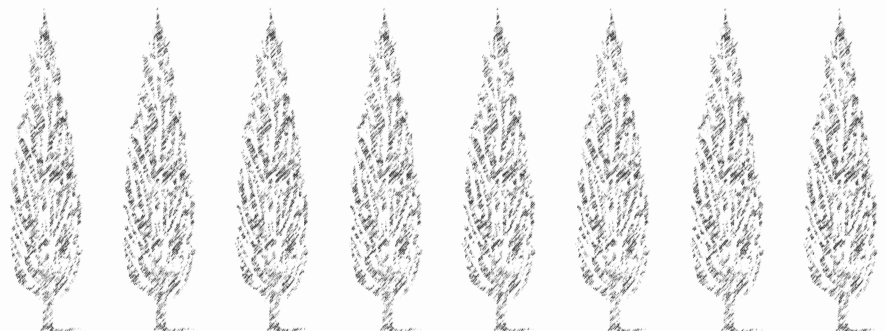
### 永遠の靈的進化の法則

ここで重要な点は、人間はただ「永久に生き続ける」ということだけでなく、同時に「靈的成長をなしていく」ということです。つまり人間は、進化、進化の果てしない道をどこまでも歩いていくのです。これを——「永遠の靈的進化の法則」と言います。人間に関する神の第一法則・根源的摂理です。

今、地球の年齢は46億年、宇宙の年齢は137億年と言われていますが、私達人間は、今後それよりもずっと長く存在することになります。そして遠い将来、地球が減び、宇宙が収縮・消滅するようなことがあったとしても、いったん“神の子供”として造られた私達は、永遠に靈的進化の道を歩み続けることとなります。そんな悠久の時の流れを考えると頭がくらくらしてきますが、これは紛れもない事実なのです。

人間は靈的に成長することを目的として、この世に生まれて来るのです。成長また成長と、いつまでたっても成長の連続です。それはこちらへ来てからも同じです。

(シルバーバーチは語る・348~349)



## 2 || 一瞬の地上人生

ここでは、これから私達が歩いていく「永遠の道のり程」を基準として、今私達が生きている地上人生を眺めてみることにします。1000万年先、1億年先には、皆さん方は間違いなく霊界に住んでいます、その遠い未来から、21世紀の地上人生を振り返ってみましょう。皆さんの前には、これまで歩んできた何百万年、何千万年の長い長い霊的進化の足跡が残されています。

さて、ここで再び皆さん方の想像力を大いに働かせていただきましょう。私達の地上人生の100年間を1センチと想定することになります。するとシルバークーパチがこれまで霊界で過ごした3000年間は30センチの地点になります。皆さんがこれから歩む1万年の道程は100センチ（1メートル）、100万年は100メートル、1000万年は1000メートル（1キロメートル）、1億年は10キロメートルの地点になります。

皆さんの地上人生の100年間を1センチの高さで表すとすると、1億年後の皆さんは、何と10キロメートルの高さ（\*エベレストより高い）に至ることになります。これは単なる推測ではなく、「人間が永遠の生命体として造られている」という事実から導き出される確実な結論なのです。

そうした広い視野から眺めると、大半の人々がとかくすべてだと思い込んでいる地上人生は、本当に微々たるものであることが実感されます。地上人生は、これほどまでに短い期間なのです。まさに地上人生は、線香花火のごとく一瞬の出来事に過ぎません。今私達は、その一瞬の地上人生の真っ只中にいるのです。

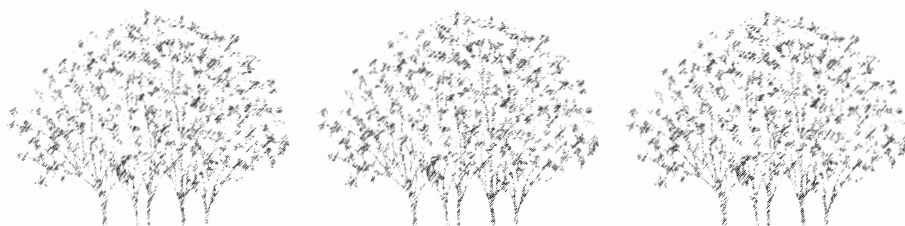
## 3 || 再生人生と地球圏霊界

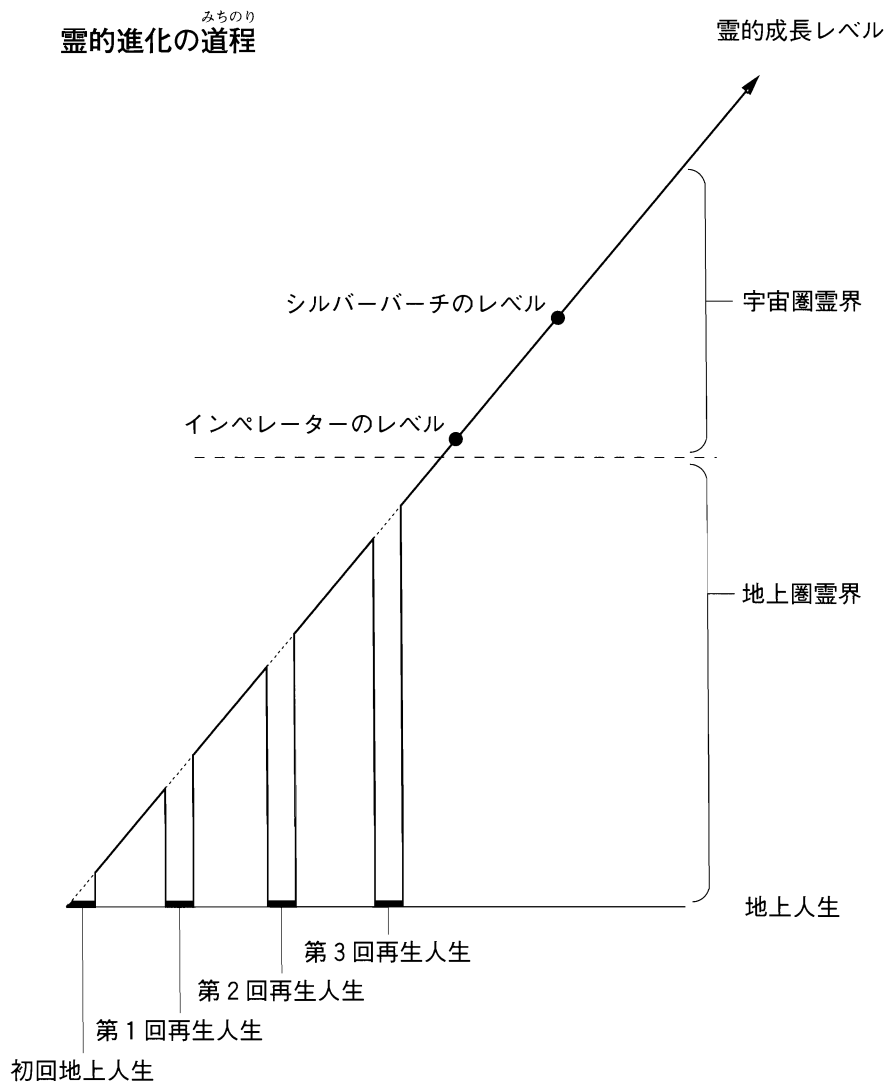
### 地上人の、これまでの霊的人生の歩みはどのくらいか？

ところで、このニューズレターをお読みいただいている皆さん方は、神によって個別の霊的存在として造られてから、どのくらいの期間がたっているのでしょうか。おそらく多くの方々は、現在“再生人生”を歩んでいらっしゃることでしょう。そうすると神の子供として独立してから、かなり長いあいだ霊性進化の道を歩んできたということになります。過去にも地上体験があり、そして霊界での待機期間（\*類魂としての生活）があり、今回の地上人生を迎えたことになるからです。

では「具体的にはどのくらいか？」ということになりますが、結論を言えば、数百年から、長くても数千年ということになります。なかには、自分は何百万年も霊性進化の道を歩んだ高級霊の再生者であると主張する人がいるかも知れませんが、実際にはそうしたことはあり得ません。

なぜなら「地球に誕生した」という事実が、大した霊性進化のレベルには至っていないということを証明しているからです。私達が最高的高级霊として考えるシルバークーパチでさえ、地上に生まれてからわずか3000年しかたっていないのです。そのシルバークーパチも、数回の地上への再生をへて現在に至っています。そして、やっと地上に再生する必要のないレベルにまでたどり着いたのです。





### 地上圏靈界は、物質世界での体験が必要な 靈性レベル

地上に再生するということは、地球という物質的世界での体験が必要な靈的レベルにあるということを示しています。それは同時に、私達が靈的進化の道の全くの初心者であることを意味しています。

このことからして“幸福の科学”で言うような、エル・カンターレなる神的存在が肉体を持って地上に現れ、しかも何度も地上世界に輪廻転生するという説は、まるっきりの嘘・間違いであることが分かります。肉体という物質をまとって地球人として生まれたということは——「物質次元の靈的レベルをいまだに卒業していない」ということなのです。

イエスのように高級天使が受肉した場合、地上の

使命を終えると直ちに地上圏靈界を素通りして、高い靈界へと至ることになります。その後、輪廻転生するようなことはありません。これは万が一にも存在しない、きわめて特殊なケースなのです。イエスの特別な使命のゆえに実現したことです。

一方、地球以外の天体には、すでに何十万年、何百万年、何千万年もの靈的進化の歩みを果たした人間が存在しています。こうした地球人とは比較にならないほどに進化した人間が、わざわざ地球という低い物質界に再生することはありません。また、誰もが自らの責任において靈的成長を成し遂げなければならない以上（\*自己責任の法則）、他の天体の住人がわざわざ地球に出向いて働きかけをするようなこともありません。

地球の救いは、少なくとも地球上に生を享けたことのある霊達によって進められなければならないのです。地球に係わる霊達が一丸となって取り組むというのが「神の摂理」に一致したことなのです。（\*宇宙には私達の知っている宇宙の他に、まだ知られていない未知の宇宙が存在します。そうした宇宙については、今後の科学が明らかにしていくでしょう。）

私達の“霊性”は地上圏レベルにあります。地球という物質世界の体験を通じて、霊的成長の基礎をつくる初歩的段階を歩んでいます。霊界では私達は“類魂”の中に入りますが、その類魂も地上圏霊界に所属します。類魂は地上圏霊界を通過するための共同成長のシステムなのです。無事に地上圏霊界を卒業すると、現在のような類魂を通じての共同体験も再生も不要となり、類魂から抜け出すこととなります。

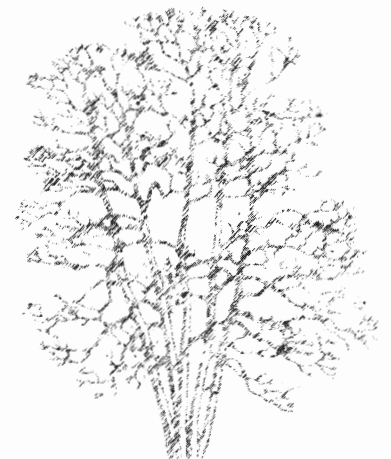
\*人間とは異なり、物質世界での体験を全く必要とせず、に霊性進化の道を歩む生命体があります。それが霊界にいる“天使”です。天使は、人間が進化の歩みを物質界からスタートするのに対し、霊界で生まれ、霊界で成長のプロセスを歩みます。宇宙が造られた137億年以前から、霊界にはすでに多くの天使が存在し、進化の道をたどっていました。

天使も神の法則の支配のもとで、低いレベルから高いレベルへと進化していきます。その中にはとてつもなく高いレベルにまで進化した者もいました。イエスもこうした天使の一人だったのです。

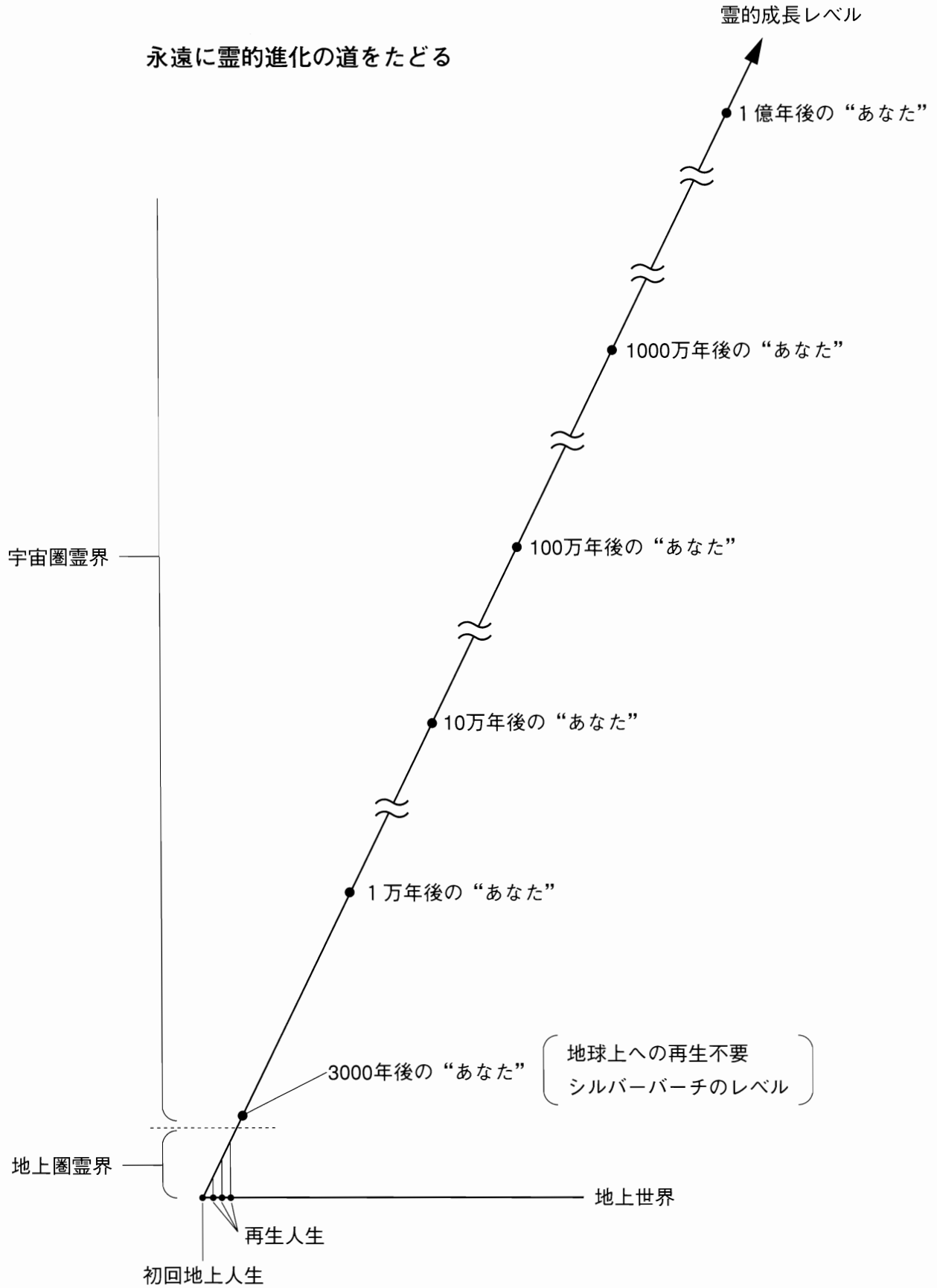
## 地上圏霊界は、霊性進化の初歩段階

再生人生の真っ只中にある私達地球人は、死後しばらくの間“類魂”としての共通体験・共同体験を通じて地上圏霊界をたどっていきます。その地上圏霊界を卒業する期間は、シルバーバーチやインペレーター<sup>インペレーター</sup>の経歴から推測すると、長くても数千年ということになります。

その数千年は、先ほど示した図に照らしてみるなら、地上世界からわずか数十センチ程度の領域ということになります。このように考えると、地球人類は霊的人生のほんの一步、ごく初歩の段階を踏み出したに過ぎないことが理解できます。



永遠に靈的進化の道をたどる

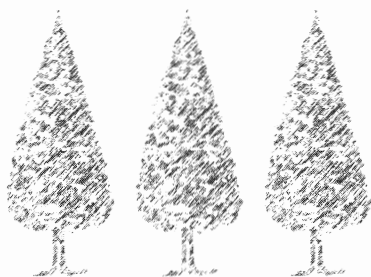


#### 4 || 下から2番目の霊性レベルの地球と、スピリチュアリズム

こうしたことを考えると、シルバーバーチの——「地球はすべての惑星の中で、下から2番目の進化のレベルにある惑星です」という言葉が、実感をともなって迫ってきます。何百メートルの高度、何キロメートルの高度で生活する他の惑星の住人から見れば、たかが数センチ、数十センチのところどひしめき合っている地球は、いかに低い天体であるかということです。地球では最高級レベルのシルバーバーチでさえわずか30センチの所にいる霊なのです。

こうした低い地球における最大の出来事が“スピリチュアリズム”なのです。スピリチュアリズムは、地球に関係する霊達が総力を挙げて、地球を霊性進化するにふさわしい場所につくり替えようとするプロジェクトなのです。何百メートル、何キロメートルの高さにいる他の惑星の住人のことを考えると、私達の地球で行われている大プロジェクトもかすんで見えます。しかし私達地球の住人にとっては、スピリチュアリズムによる霊的浄化は、どうしてもクリアしなければならない必須条件なのです。地球に生まれたことのあるすべての霊達が、これからの地球人のために全力を挙げて取り組んでいる救済活動なのです。

それは21世紀の地球にとって、最も重要な出来事であることは言うまでもありません。今霊界では、こうした歴史的なプロジェクトが着々と進められ、それによって地球は確実に進化の道を歩んでいます。



#### 5 || ほんの一瞬だけれど、大切な地上人生

現在、地球上に生活する私達は、霊性進化のプロセスの第一歩を踏み出したところです。今後しばらくは“類魂”との共同成長の歩みを通じて、地上圏霊界を少しずつ上昇していきます。どのくらいで地上圏霊界を卒業することができるのかは、今後の一人一人の努力にかかってくる。何回か再生人生を歩んでも霊的成長のチャンスを生かすことができなければ、いつまでも地上圏にとどまることとなります。わざわざ遠回りの道をつくり（カルマをつくり）、成長の道を自ら閉ざしてしまうこともあります。何千年もの長い間“地縛霊”として霊的成長をストップさせたままの霊もいます。

地上人生は、霊界へ行ってからの生活のための準備場所でありトレーニングセンターです。人間にとって必要な基礎的な霊的成長をなす所として神が定められたのです。残念なことにはそれほど大切な地上生活を、あまりにも多くの人々が無駄に過ごしています。その最大の原因は、霊的知識に対する無知にあります。霊的知識がないために、死ねばすべてが終わりだと錯覚し、生きてい間にできるだけ物質的快樂を求めなければ損だと考えるようになります。そうした「物質中心主義」が必然的に「利己主義」を生み出し、その結果、地球上に戦争や貧困・飢餓といった地獄さながらの世界を現出させることになっています。

何のために地球上に生まれたのか？ その答えは簡単です。霊的成長を達成して、霊界の生活に備えるためです——「人生の究極の目的は、地上も死後も、霊性を開発することにあります。物質界に誕生してくるのもそのためです」（霊的新時代の到来・113）

しかし、この単純でありながら最も重大なことを、現在の大半の人々は知らずにいます。霊界に入ってゼロからやり直さなければならないような人があまりにも多すぎて、それが霊界の人々に甚大な負担を負わせてきました。

そこで霊界の高級霊が協議して、地上に「霊的真理」をもたらし、地上人を救済する計画を立案したのです。言うまでもありませんが、それが“スピリチュアリズム”なのです。私達スピリチュアリストは、その救済計画の恩恵を真っ先に手にした最も幸運な地球人なのです。

それが地上での存在の理由のすべてなのです。なのに現実には、大多数の人間が身につけるべきものをロクに身につけようともせずに地上を素通りしております。

ですから、イザこちらの世界へ来た時は何の備えも出来ていないか、さもなければ、一から学び直さなければならぬほど誤った思想・信仰によってぎゅうぎゅう詰めになっております。本来そうしたものは地上の方が遥かに学びやすく、その方が自然なのです。

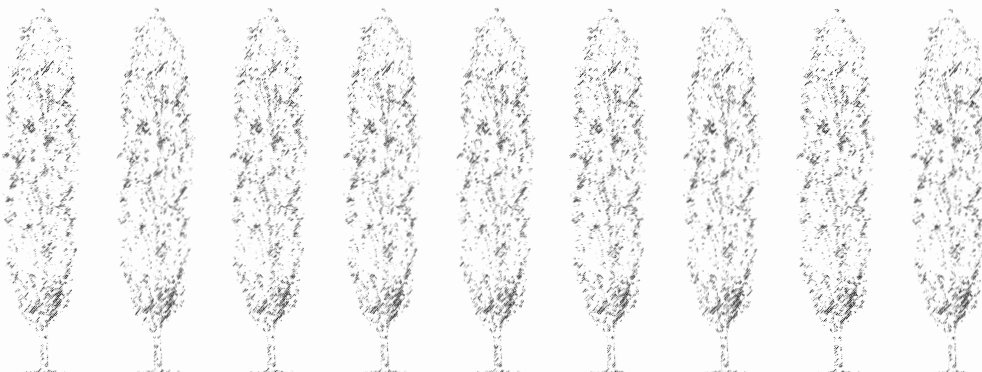
(シルバーバーチ 1・162)

## 6 || 現在の地球上の問題は、いずれすべて解決する

今後、地球と地球人は、何千年、何万年、何十万年と歩いていく中で少しずつ霊的進化の道をたどっていきます。そうした永い時間の観点からすれば、今地球上で生じている問題は、いずれそのうち消滅していくものばかりなのです。戦争・貧困・飢餓・テロ・環境問題・人種差別・核問題・経済問題——そのどれもが時間とともに解決されていきます。

しかし肉体に閉じ込められ、肉体生命だけがすべてと思い込んでいるところでは、数年から数十年のスパンでしか物事を判断することができません。そして「大変なことになった、世も終わりだ」と右往左往しうろたえることとなります。たかだか数十年の肉体寿命を基準とした視野には、現在の地球は絶望的状况にしか映りません。地球の将来、地球人の未来は、果してどのようになっていくのかと不安に駆られるようになります。

実際には何百年か後には、今私達を悩ませ不安に陥れている地球上の諸問題は、見事なまでに消え去っていることでしょう。シルバーバーチは「何も心配は要りません」と繰り返し述べていますが、その通りになっていくのです。





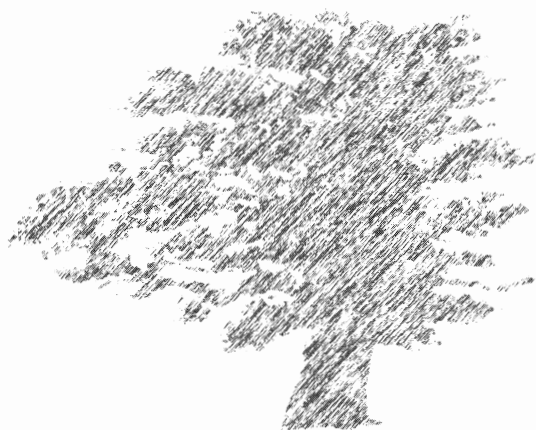
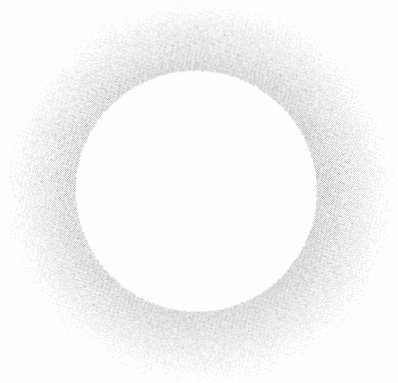
とはいっても将来の地球上には、問題や悩み事が一切なくなるということではありません。現在、地球人を悩ませている無用の問題に代わって、別の問題が生じることになります。物質界ならでは問題や困難が必ず生じ、それに全力で取り組む中で成長していくのが地上人の宿命なのです。どれほど霊的に進化しても物質界にいる以上、さまざまな問題に直面することは避けられません。

ただ、はっきり言えることは、未来の地球においては今よりもっと高次元で内面的な問題が大半の人々の課題となるということです。たとえ何百年、何千年たっても、地球人類に要求される努力内容は変わりません。それは、これまでスピリチュアリズムで提示されてきた「霊主肉従の闘い」と「利他愛の実践」に集約されます。

それほど遠くない将来において、現在地球上に存在する大半の宗教は姿を消し、スピリチュアリズム

という「神」と「神の摂理」を信仰対象とする宗教だけになっていきます。霊界に一つの宗教があるように、「霊的真理」にそった一つの信仰形態が地上人の常識となるのです。

私達は地上世界に住み、肉体を持っているために、どうしても物質（肉体）を中心として考えてしまいます。しかし「霊的真理」という永遠の視野を与えられた私達スピリチュアリストは、物質世界にあってもそれに巻き込まれることなく、常に「霊的視野」に立った考え方・見方をしなければなりません。物質世界の政治や経済の動きに惑わされることなく、常に霊界人のような視点に立って、地球上の動きを超然と眺め下ろしていかなければなりません。今、与えられている地球上の生活を、霊界まで続く永遠の流れの中の一コマとして大切に過ごしてまいりましょう。



# 高級霊界によってもたらされた “2つの一番” スピリチュアリズムとシルバーバーチ

早いもので、ニューズレターを発行して7年がたちました。この間、日本全国に広く『シルバーバーチの霊訓』の存在が知られるようになり、今や日本は世界で有数のシルバーバーチ大国となりました。また霊的に目覚めた方々によって、徐々に「シルバーバーチの読書会」が全国各地で開かれるようになってきました。本当に嬉しいことです。

以前にもお知らせしましたが、ニューズレターの発行は、私達のサークルによるスピリチュアリズムへの奉仕・貢献の一つです。自分達の力の範囲内でできるボランティアとしてやっています。

ニューズレターを通じて皆さんにお伝えしたいと思っている内容は、「2つの一番」と「霊的真理の実践の重要性」に言い尽くされます。その2つの一番とは、スピリチュアリズムとシルバーバーチということです。

スピリチュアリズムが一番  
シルバーバーチが一番

今回は、この2つの内容について見ていきます。

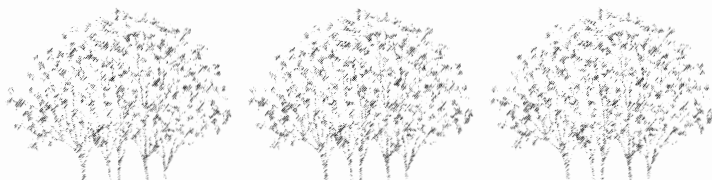
## 1 || スピリチュアリズムが一番

スピリチュアリズムは、「地球上に存在するすべての宗教・思想・哲学の中で最も優れている」「地球上の精神文化の中で頂点に立っている」——これがニューズレターで伝えようとしている1つ目のメッセージです。

### スピリチュアリズムの最も重要な本質 ——全霊界あげての人類史上最大の救済計画

スピリチュアリズムは、地球上のすべての宗教の中で無条件に一番である、すべての精神文化の頂点に立っているということは、この世の人々にはなかなか得心がいきません。おそらくスピリチュアリズム狂信者のたわごとぐらいにしか受け取られないでしょう。

しかし、スピリチュアリズムが地球上に登場するようになるまでの霊界での経緯<sup>いきさつ</sup>・事情を知ると、「スピリチュアリズムが一番」ということを当たり前のこととして理解できるようになります。シルバーバーチは、スピリチュアリズムが霊界の高級霊によって綿密な計画のもとに出発したことを明らかにしています。



連帯関係にある霊団がいくつもあり、各霊団に一人のリーダーがいます。その全体の総指揮に当たっているのが、かのナザレのイエスで、今なお地上世界の発展のための事業に関わっております。そのイエスのもとで地上ならさしずめ“首脳会議”にあたるものが開かれます。ご存知のように時おり私もその会議に出席するために一時的に上層界へ引き返し、それまでの計画の進展具合を点検し、連帯関係を確認いたします。審議会のようなものです。

マスタープラン（総合的基本計画）というものが、私たちに役割分担が当てがわれております。霊格の高さゆえに地上の事業に参与できる“光り輝く存在”を一目ご覧に入れたいと思うのですが、残念ながらそれができません。（中略）

計画は完璧です。なぜならその立案に当たって完璧な叡智が働いているからです。（中略）雄大な構想のもとにそのマスタープランを推し進めていく事業に参加できることは、この上なく光栄なことです。（中略）

いかなる困難、いかなる障害、いかなるハンディキャップ、いかなる反抗に遭遇しても、またいかなる愚かさ、いかなる無知、いかなる迷信が立ちはだかっても、霊の力によって、万事、かならずうまくいきます。真理は常に行進しており、その目的成就を妨げることのできる者は一人もいません。ですから皆さんは堂々と胸を張り、背後に控える霊力は地上で遭遇するいかなる勢力よりも強大であることを、しっかりと認識なさることで。

（シルバーバーチ 8・96～97）

（それ以前にも）一時的にインスピレーションがあふれ出たことはありますが、長続きしていません。このたびのコミュニケーションは組織的であり、協調的であり、管理・監督が行き届いており、規律があります。一大計画の一部として行われており、その計画の推進は、皆さんの想像も及ばないほどの協調体制で行われております。背後の組織は途方もなく巨大であり、細かいところまで見事な配慮がなされております。すべてに計画性があります。

そうした計画のもとに霊界の扉が開かれたのです。このたび開かれた扉は二度と閉じられることはありません。

（最高の福音・103）

わたしは、できることなら霊的ビジョンがどうなっているかをお見せしたいものだと思うにはいられません。そうすれば、霊の世界に存在する複雑・微妙な組織と、計画が立案され地上の各国に影響力が行使されていく、その背景に行きわたる配慮、絶妙ともいべき配剤を、まのあたりにすることができるのですが……。永年にわたって蓄積されてきた叡智から生まれる洞察力が総動員されます。

（最高の福音・143）

（霊界の）上層界にはすべての連絡網を通じて情報を集めている霊団が控えているのです。必要に応じて大集会を催し、地上界の全域における反応をあらゆる手段を通じてキャッチして、計画の進捗<sup>しんちよくぐあい</sup>具合を査定し、評価を下しているのです。

（最高の福音・201）

これまで地球上に存在した宗教で、こうした霊的な背景を持ち、多くの霊達に関係するものは一つもありませんでした。もちろん現在の地球上の宗教の中にも、スピリチュアリズムのような無数の高級霊達によって主導されているものはありません。

現在の地球は、一般の人々には想像もつかないような霊界総動員しての働きかけによって徐々に進化の道をたどっています。最近では心靈に関する知識が普及するようになり、霊界の存在・死後の永遠の生命を信じる人々が増えてきました。しかしその中で今、霊界あげての人類史上最大のプロジェクトが進行中であることを知っている人は、ほとんどいません。スピリチュアリズムは地球の運命を決定する重大なプロジェクトですが、実際にその動きを知っている地上人は全くといってよいほどいないのです。世界中の宗教者も政治家も霊能者も、誰も知りません。一部のスピリチュアリストのみが、そうした霊界の最も重要な動き、霊界最大の秘密を知っているのです。

スピリチュアリストが常に意識すべきことは、スピリチュアリズムの最大の本質は——「全霊界あげての大規模な救済活動である」ということです。この点を、私達はしっかりと心にとどめておかなければなりません。

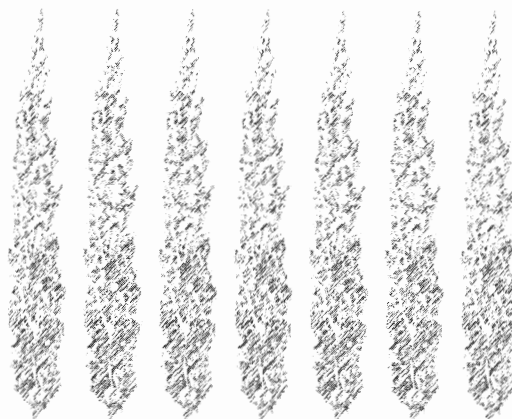
地上世界は、たった一つの重大な原因によって、着実に改善されております。その原因とは“霊の力”が働きかけているということです。(中略)

今からほぼ1世紀前(1848年のハイズビル事件)に始まった大々的な組織体制のもとでの霊力の降下がなかったならば、地上世界はもっともっと深刻な事態に陥っていたはずで、潜在的な更正力が全世界に働きかけてきたからこそ、この程度で終わっているのです。

(最高の福音・174)

しかし間違いなく言えることは、その新しい世界の種子がすでに地上世界に根づいているということです。既得権力の座に安住している者たちがいかなる策<sup>ろう</sup>を弄しても、それ(スピリチュアリズムを阻止すること)は功を奏さないでしょう。イエスは「天に為される如く地にも為されるであろう」と2千年前に述べております。それがもうすぐ実現しようとしています。

(シルバーバーチは語る・66)



## スピリチュアリズムは、地球上のすべての宗教をなくそうとする大計画

21世紀の現在に至るまで、キリスト教に代表される地球上の宗教は、殺し合いや戦争をやめさせるという最低限の責任さえ果たすことができませんでした。そうした中で、「もはや地上の宗教に人類救済の役割を期待することはできない」との判断が下されました。地上の宗教を頼りにしては、いつまでたっても人類を救うことはできない、地球上から悲劇をなくすことはできないと霊界は見切りをつけたのです。そして霊界サイドの主導によって人類救済に乗り出さなければならないと決定されました。

霊界から見る地上は、無知の程度がひどすぎます。その無知が生み出す悪弊には、見るに耐えないものがあります。それが地上の悲劇に反映しておりますが、実はそれが、ひいては霊界の悲劇にも反映しているのです。地上の宗教家は、死の関門をくぐった信者は、魔法のように突如として、(中略) 一切の悩みと心配と不安から開放されるかに説いていますが、それは間違いです。真相とはほど遠い話です。

死んで霊界へ来た人は、(中略) 地上にいた時と少しも変わりません。肉体を捨てた——ただそれだけのことです。(中略) 利己的だった人は、相変わらず利己的です。貪欲だった人は、相変わらず貪欲です。無知だった人は、相変わらず無知のままです。(中略)

こうしたことがあまりにも多すぎることから、霊的実在について、ある程度の知識を地上に普及させるべしとの決断が下されたのです。(中略) そのためには、何世紀にもわたって受け継がれてきた誤解・無知・偏見・虚偽・欺瞞・迷信——要するに人類を暗闇の閉じ込めてきた勢力のすべてと闘わなければなりませんでした。

私たちは、そうした囚われ<sup>とら</sup>の状態に置かれ続けている人類に霊的開放をもたらすという目的をもって、一大軍団を組織しました。

(最高の福音・188~189)

スピリチュアリズムは、こうした状況から始まりました。霊界から見れば、地球上のすべての宗教は「霊的真理」に無知であり失格です。人類の救いのために何の役にも立っていません。それどころか反対に宗教は、地球上に悲劇をつくり出す元凶となっています。霊界の住人からすれば、地上の宗教はすべて存在しない方がましなのです。

スピリチュアリズムは、宗教に代わって地球上から悲劇をなくし、地上に永遠の平和をもたらすために興されました。スピリチュアリズムは地球上から間違った宗教を一掃して、全人類が霊的成長の道を歩めるような世界をつくることを目的とした大計画なのです。



わたしの使命には二つの要素があるとみています。一つは純粹に破壊的なもので、もう一つは建設的なものです。永いあいだ人間の魂の息を詰まらせてきた雑草——教会による虚偽の教え、宗教の名のもとに説かれてきた意味のない、不快きわまる、時には**ぼうとく**的でさえある教義を破壊するのが第一です。そうしたものは根こそぎ一掃しなければいけません。人生が本来の意義を果たすのを妨げるからです。

(最高の福音・251)

宗教の名のもとに行われている**ぎまん**と**ごびょう**を一掃することができれば、この地上を毒している問題の多くが解決されていきます。(中略) 地上世界はこれまで“教条主義”によって呪われ続けてまいりました。

(最高の福音・66)

私たちの努力は常に、物質界の大霊の子等に、いかにして魂の自由を見出し、いかにして靈的真理の陽光を浴び、いかにして教義の奴隷となっている状態から脱け出るかをお教えることに向けられております。これは容易ならぬ仕事です。なぜなら、いったん宗教という名の足枷**あしかせ**をはめられたが最後、迷信という名の厚い壁を突き破って靈的真理が浸透するには、永い永い年月を要するからです。

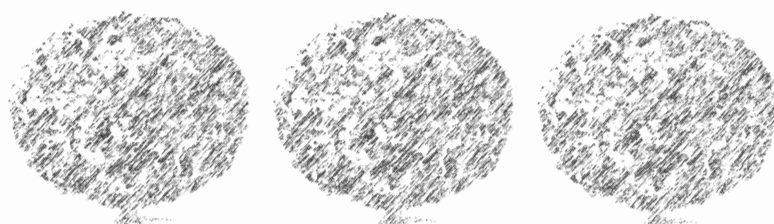
(靈的新時代の到来・79)

## スピリチュアリズムは、靈界人の唯一の 共通信仰を地上にもたらそうとする計画

靈界には、「神」と「神の摂理」だけを崇拝する共通の信仰・一つの宗教が存在します。もちろんそこには、人工的な教義も宗教組織も教祖もありません。「靈的法則」に忠実な生き方・実践があるのみです。スピリチュアリズムは、そうした靈界に存在する唯一の共通の信仰を地上にもたらし、これまでのすべての人工的宗教を駆逐しようとする計画なのです。地球上のあらゆる宗教を、「神」と「神の摂理」を信仰対象とする一つの本物の宗教につくり替えようとする大プロジェクトなのです。

それを実現するために、「靈的真理」を地上にもたらし綿密な計画がイエスを中心とする最高級靈達によって立案されました。その計画にもとづいて全靈界が組織化され、完璧な協調体制が準備されました。そして地上人には想像もつかないような万全な形で地上への働きかけが開始されたのです。今このときも何百億という高級靈達が一糸乱れぬ体制のもとで、地球人類救済のために、地球上のさまざまな分野に向けて働きかけをしています。

こうしたスピリチュアリズムの靈的背景と目的を知れば、地球上のいかなる大宗教もスピリチュアリズムの足元にも及ばないことは明らかです。「規模の大きさ」「靈的背景の強力さ」、もたらされる「靈的真理の広さ・深さ・正確さ」——どの点をとっても、これに匹敵する地上の宗教は存在しません。スピリチュアリズムはその計画の出発点から、地球上の宗教の中で比べるものがない頂点に立つことが決定されていたのです。



## スピリチュアリストとしての最低限の義務

短い地上人生において“スピリチュアリズム”と出会うことは、本当に奇跡に近い出来事と言えます。63億の地球人の中で、スピリチュアリズムの名前を知り、その存在について詳しく知っているのは、まだまだ一部の人間に限られます。すでにスピリチュアリズムとのつながりを持っている人は、いかなる宗教関係者よりも恵まれた立場にいます。スピリチュアリストは、計り知れない霊的宝を手にした特別に幸運な人間なのです。

そうしたスピリチュアリストが第一に心がけなければならないことは、「これまでの宗教との係わりをきっぱりと断ち切る」ということです。スピリチュアリズムは、地上の間違った宗教に取って代わるためにもたらされたものです。間違った宗教から人々を救い出すことを目的としているのです。

ですからスピリチュアリズムと真っ先に出会ったスピリチュアリストは、霊界の意向にそってこれまでの宗教との縁を切らなければなりません。それは私達のために今日まで苦勞して導いてくれた高級霊に対する当然の義務であり、とるべき当たり前の姿勢なのです。

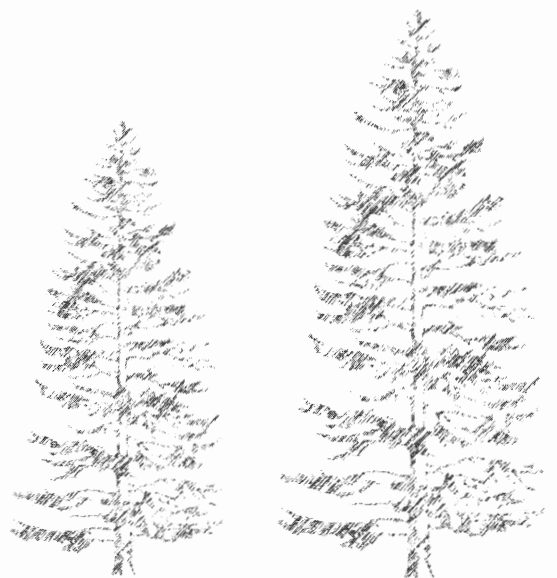
内心では間違っていると感じていること、理性が得心しないことを潔く捨て去った時、その時こそあなたは「自由」となるのです。知性が反乱の雄叫びを上げたのです。新しい真理の光で自分の間違いに気づき、怖じけることなくそれを捨て去った時、あなたは本当の意味で「自由」となるのです。

(シルバーバーチは語る・152~153)

真理の指し示す所へは臆することなく突き進み、間違いと分かったものは、たとえ何千年ものあいだ金科玉条きんかぎよくじょうとして大切にされてきているものでも、潔く捨て去る勇気がなくてはなりません。

地上人類は古い神話や伝説を、ただ古くからあるものというだけの理由で大切にしすぎております。真理と年代とは、かならずしも手を携えて進むものではありません。幼少時代に教え込まれ大切にしてきた信仰を捨て去ることが容易でないことは、私もよく承知しております。しかし、魂が自由になるには、理性が納得しないものは潔く捨て去ることができるようでなくてはなりません。

(シルバーバーチは語る・153)



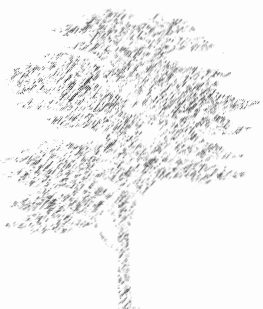
## 避けられないスピリチュアリズムへの反発

「地球上にスピリチュアリズムに匹敵する宗教はない」と断言すれば、すでに何らかの宗教を信じている人に不快な思いをさせることになります。スピリチュアリズムの意義と価値を主張すればするほど、地球上の宗教を敵に回すことになります。

現にこれまでキリスト教は、スピリチュアリズムを最大の敵として激しい非難を浴びせてきました。今後は人口増加にともない世界一の巨大宗教となっていくイスラム教が、スピリチュアリズムの最大の敵となることでしょう。またニューエイジや神秘思想・新興宗教も、自分達こそ最高という自負があるだけに、「スピリチュアリズムが一番」という主張をなかなか素直に受け入れることはできないでしょう。

ここでしっかり知っておいていただきたいことは、スピリチュアリズムは——「反対者に対して激しい議論や説得で改宗を迫るものではない」ということです。ニューズレターもそれと同じく、反対する人間を対象としてはいません。ニューズレターの読者は、どこまでも時期のきた人、霊的真理を受け入れられる霊性の持ち主（\*シルバーバーチの言う「大人の霊」）と考えています。もっと端的に言えば、すでにスピリチュアリズムやシルバーバーチと出会い、そこに最高のものがあることをうすうすでも感じられる人を対象としているということです。

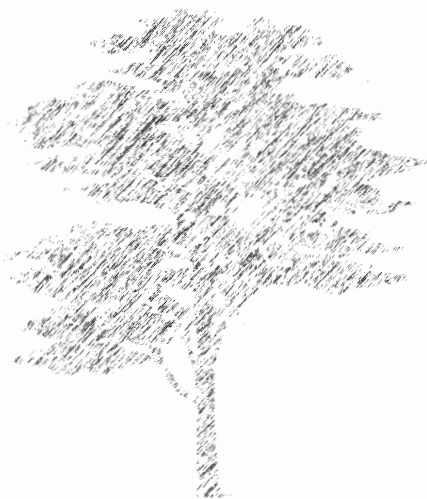
自分達の宗教だけが最高でそれ以外は劣るとか、それ以外の意見は一切聞く必要はないと主張する人間——言い換えれば“霊的牢獄”の中に居続ける人間を相手にしようとは考えていません。



わたしが申し上げていることに賛成してくださらなくても、あるいはわたしが間違っている——とんでもないことを言うヤツだと思われる——、一向にかまわないのです。わたしはわたしの見てきたままの真理を申し上げているだけです。永い永い進化の過程をへた後に学んだままをお届けしているのです。それがキリスト教やヒンズー教、その他、聞いてくださる方の宗教を混乱させることになっても、それはこのわたしには関わりのないことです。（中略）

わたしの申し上げることがしっくりとこないという方に押しつける気持は毛頭ありません。わたしに知り得たものを、精いっぱい謙虚に、精いっぱい敬虔な気持で披瀝<sup>ひれき</sup>するだけです。わたしが獲得した知識のすべて、叡智のすべてを、受け入れてくださる方の足もとに置いてさしあげるだけです。これは受け取るわけにはいきません、とおっしゃれば、それはその方の責任であり、わたしの責任ではありません。

（最高の福音・54）





## 2 || シルバーバーチが一番

シルバーバーチの霊訓は、「スピリチュアリズムの中で一番である」「地球上のすべての霊界通信の中で文句なしに頂点に立っている」——これがニューズレターで伝えようとしている2つ目のメッセージです。

### 低い次元から高い次元へと進化してきた スピリチュアリズム

スピリチュアリズムが地上に登場して150年がたちました。スピリチュアリズムは初めから最高次元の霊的真理・霊的教訓を地上にもたらそうとしたわけではありません。物質の牢獄の中に閉じ込められ“霊的光”がほとんど存在しない地上世界に対して、霊界サイドは「少しずつ光を届ける、少しずつ光の量を増やす」という方法をとってきました。それがスピリチュアリズムが“心霊現象”から出発するようになった理由です。

スピリチュアリズム展開の初期には、霊界から意図的に心霊現象が演出され、人々の関心を霊界や死後の霊に向けさせるという方法がとられました。また霊界の霊とのコミュニケーションの可能性を知らせるために、ひんぱんに“交霊会”が行われました。交霊会は、世界各地のシャーマニズムで行われている“霊媒現象”と同じものです。そこでは死者との交信を通じて、死後の世界があること、死者があの世界でも生き続けていることを確認することができます。

一方、スピリチュアリズムでは死者との交わりをするだけの交霊会にとどまらず、それを高次元化して「霊界通信」にまで引き上げてきました。一般的な交霊会は、霊的成長を促すための高度の教訓をもたらすようなものではありません。それに対し、スピリチュアリズムに係わる高級霊が意図した霊媒現象（交霊会）は「霊界通信」と呼ばれ、高級霊からの教訓を伝えることを目的としています。高級霊による霊界通信は、霊団を組んで万全の体制のもとで

組織的に進められます。心霊現象や一般的な交霊会は、地上人が高級霊からの通信（高級霊界通信）を受け入れられるようにするための準備であったということです。こうした準備のうえで、シルバーバーチに代表される高級霊からのメッセージが届けられるようになりました。

「心霊現象・交霊会・高級霊からの霊界通信」これがスピリチュアリズムの150年の歴史を説明するキーワードです。霊界の高級霊は、地上人に“心霊現象”を見せつけ霊界に関心を向けさせると同時に、「霊界通信」を通じて真理を地上にもたらし準備を進めてきました。（\*現在、スピリチュアリズムの中で盛んに行われているスピリチュアル・ヒーリングは、心霊現象を現代人向けにレベルアップさせたもので、その目的はどこまでも霊的真理普及を補助するところに置かれています。）

われわれの指導は二つの平行線をたどったのです。一つは物質的ないし物理的現象であり、われわれが使用する隠れた霊力の目に見える証拠です。もう一つはわれわれが届けるメッセージの内容とその意義です。人間が肉体という物質に包まれている以上は、現象的証拠に関心が行きすぎるのもやむを得ないことです。だからこそわれわれは、それがあくまで副次的なもの——われわれの本来の使命の証にすぎないとの見解の理解をあなたに要求してきたのです。

（続霊訓・154～155）

物理的心霊現象が徐に後退し、心霊治療と霊的教訓という高等な側面がそれと取って代わりつつあります。

（シルバーバーチ9・165）



こうした事実が分かれば、スピリチュアリズムの目的とするところは“心霊現象”でもなければ、“交霊会”によってあの世にいる身内・友人と交信することでもないことがはっきりします。心霊現象や交霊会は、どこまでも本当の目的のための露払い程度の意味しか持ちません。しかし世間では、それがスピリチュアリズムのすべてであるかのように誤解されてしまいました。

シルバーバーチとインペレーターの次の言葉は、スピリチュアリズムを展開する霊界サイドの高級霊の本音をよく示しています。

わたしが残念に思うのは、本来は霊的存在であるはずの人間が、あまりに霊的なことから遠ざかり、霊的法則の存在を得心していただくためには、私たちスピリットがテーブルを浮揚させたりコツコツと叩いてやらねばならなくなったことです。

(霊的新時代の到来・93)

人間に霊的摂理を教えるために、ラップなどの物理的心霊現象から始めなくてはならなくなったことを残念に思います。

(シルバーバーチは語る・55)

ぜひとも理解していただきたいのは、スピリチュアリズムの本質は宗教性にあるということです。このことに異議を唱える者がいることは、われわれには何とも不思議に思えてなりません。ある者はスピリチュアリズムと言えば他界した親戚・縁者との交信にすぎないと思込んでおります。

(続霊訓・77)

## シルバーバーチの霊訓は、無条件に スピリチュアリズムの最頂点に立っている

霊界通信のすべてが優れたものではなく、内容的にはピンからキリまであります。またニセ物も多くあります。低級霊の関与する低俗なものもあります。霊界通信のレベル・優劣は、メッセージを送る通信霊の霊格と、それを受け取る地上の霊媒の質によって決定されます。届けられた通信内容によって、そのレベルを判断することができます。

今、私達が手にしている『シルバーバーチの霊訓』は、これまでの霊界通信の中で最も優れたものです。数ある霊界通信の中で、シルバーバーチの霊訓に匹敵するものはありません。スピリチュアリズムは、シルバーバーチの霊訓の登場によって頂点を迎えたと言えます。シルバーバーチの霊訓は、霊界総動員して進められてきたスピリチュアリズムの最頂点に位置します。



「シルバーバーチは、スピリチュアリズムの中で文句なしに一番」——これがニューズレターで伝えようとしている最も重要なメッセージなのです。ニューズレターは『シルバーバーチの霊訓』をPRすることを最大の目的としています。一人でも多くの人々に、シルバーバーチの霊訓を知っていただくことを使命としています。

シルバーバーチの霊訓の素晴らしさは、霊性の開かれた謙虚な人間には直感的に感じられるようになっています。一定の霊的レベルに至った人には、シルバーバーチの霊格の高さはストレートに伝わるようになっていきます。通信内容の高さ・広さ・深さ・正確さ——どの点を取ってもシルバーバーチの霊訓に並ぶものはありません。

シルバーバーチの霊訓は、多くの人々に感動を与え、魂を揺さぶり、霊的覚醒を促してきました。そして奉仕の前線にいる人々を励ましてきました。シルバーバーチの霊訓は、スピリチュアリズムという大計画の中で地球人にもたらされた最高の叡智であり、霊的宝なのです。そこには何百年もの期間を懸けて準備してきた霊界の高級霊の熱い思い、地上人類の救いへの強い意欲が集約されています。

皆さんは今、霊界での審議会で用意された叡智がこのわたしを通して届けられるのをお聞きになっていらっしゃるのです。

(霊性進化の道しるべ・238)

(シルバーバーチの交霊会に参加している霊の) その内訳はあらゆる民族、あらゆる国家にまたがり、しかも現代の人も過去の時代の人もいます。東洋ならびに西洋の予言者、霊覚者、聖人・賢人、地位の高かった人・低かった人、ギリシヤ・ローマ・シリア・カルデア・ペルシア・バビロニアの思想家たち、それに比較的近世のイタリア・フランス・ドイツの思想家も混じっております。みんなで見解を出し合い、それを総合して皆さんにとって最も有益なものに仕上げるのです。

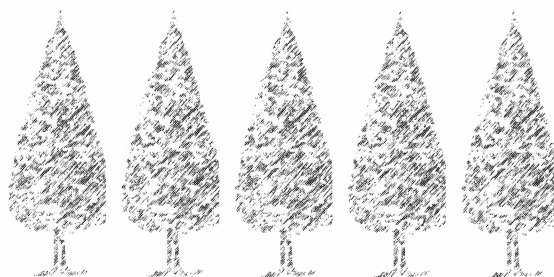
(霊性進化の道しるべ・85~86)

その教えには必ずや大霊による“正真正銘”の折り紙がつけられているはずです。

(霊性進化の道しるべ・121)

私の背後には延々と幾重にも連なる霊団が控え、完全なる意思の統一のもとに、一丸となって臨んでおります。私がこの霊媒(バーバネル)を使用するごとく、彼らも私を使用し、長いあいだ埋もれてきた霊的真理を地上の全土に広げんとしているのです。

(不滅の真理・29)



### 3 || シルバーバーチの靈訓との 出会いは、地球人にとっての 最高の恩恵

スピリチュアリズムは靈界を総動員した人類史上最大のプロジェクトです。現時点において、そうした靈界での大きな動きを知ることができた地上人は、ほんの一部に限られます。

そのスピリチュアリズムの中で、シルバーバーチの靈訓は頂点に位置しています。「シルバーバーチの靈訓と出会う」ということは、高級靈による長年の導きの最高の結実・努力の結晶を手にしたことを意味します。シルバーバーチの靈訓を知るということは、地球人類として最高の恩恵を手にしたということなのです。価値ある地上人生を送るチャンスに恵まれたということなのです。シルバーバーチを知った私達スピリチュアリストは、最も幸せな地球人なのです。

#### 賢明なスピリチュアリストとは？

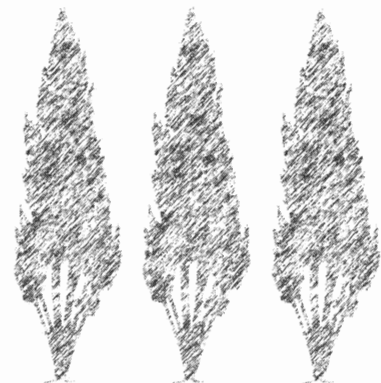
私達は、スピリチュアリズムという全靈界あげての壮大な地球規模の救済活動の事実を知りました。しかも、その最頂点に位置するシルバーバーチの靈訓までも知ることができました。賢明なスピリチュアリストとは、こうした壮大な流れの中で、靈界の意向にそって正しく対処する人間のことです。靈界主導の大計画の流れにぴったりと合流し、高級靈と一緒に地上人類救済の活動に身を捧げる人間のことです。与えられた「全人類への最高の奉仕のチャンス」を確実にものにする人間のことなのです。

靈性の恵まれた人は、シルバーバーチの靈訓という最高の叡智・靈的宝を手にすると、無条件にそれを自分の人生の中心に置き、人生の指針にします。そして、それ以外のものには見向きもしなくなります。「シルバーバーチの靈訓さえあれば十分である」と、自然に思うようになります。なぜなら本物の教えに出会うためのそれまでの苦しい求道の歩みは、シルバーバーチとの出会いによって一つの終着点に

至ったことを実感できるからです。

時期がきて靈性の開かれた人は、シルバーバーチという最高の教えに出会った後は、実践に意識が向くようになります。手にした最高の教えを何度も何度も繰り返し読み、真理の実践にエネルギーと時間を向けるようになります。こうしてシンプルで澄み切った靈的人生を出発するようになります。毎日を高級靈とともに歩み、導きと応援を得る中で地球人として「最高の靈的人生」を送るようになるのです。

最も賢明な地上人とは、崇高な奉仕に自分の人生をすべて捧げる人間のことです。自分流の身勝手な奉仕・自己満足的な偽善的奉仕に走ることなく、高級靈の道具として「最高の奉仕」に素直に身を投じることができる人間のことです。シルバーバーチとの出会いを果たしたスピリチュアリストこそ、まさにこうした賢明な地上人を目指さなければなりません。私達は、それができる立場に立っているのです。



## 今さら、あれこれ他の靈界通信<sup>あさ</sup>を漁る必要はない

世の中には、シルバーバーチという最高の真理に出会いながらも、まだ他の靈界通信を必死に漁り続けている人がいます。最高の真理に出会った以上、もはやあれこれ他のものを物色する必要などないはずです。もちろん他の通信を読むことは全く意味がないというわけではありません。一読する価値のあるもの、スピリチュアリズムをより深く理解するうえで助けとなる優れた通信もあります。しかし、それはどこまでも脇役的な存在に過ぎません。

シルバーバーチと出会いながらまだ他のものを求める人は、いったい何のために真理の探究をしてきたのでしょうか。最高の真理を知りたいため、最も価値あるものを手に入れたいためではなかったのでしょうか。何百冊もの宗教書・心霊書・精神関連書を読んだとしても、シルバーバーチの靈訓には及びません。

### 靈的真理は実践を目的として与えられたもの

真理に関してもう一つの重要な点は、「真理は知るためだけに与えられたものではない」ということです。そんなことのために靈界が総力を挙げ、万難を排して地上にもたらしたわけではありません。どうでもいいような知識収集の趣味のために、靈界の人々は苦勞してきたわけではありません。最高の靈的真理を伝え、「一刻も早くそれを実践して靈的成長の道を歩んでもらいたい」との思いから必死の努力をしてきたのです。

時おり私がうんざりさせられることの一つに、靈界からの“高等な教え”ばかりを求めて、それを同胞のために役立てることをしない人がいることがあります。

(シルバーバーチは語る・91)

単なる知識の収集では大して価値はありません。もしもそれを他人のために使わないでいると、一種の利己主義ともなりかねません。

(靈性進化の道しるべ・98)

### 最高の靈的宝をドブに捨てるようなことはしない

シルバーバーチの靈訓という最高の靈的宝を手にながら、低俗な見栄のために、それをすべてドブに捨てるようなことをしている人間がいます。残念なことですが、こうしたスピリチュアリストが実際、多く見受けられます。

シルバーバーチの靈訓という最高の教え・最高の靈的真理と出会いながら、それを単なる地上の一つの思想程度の位置づけしかせず、何の意味もない議論に時間を費やしたり、馬鹿げた自己主張に走っています。こうした人達は、せっかく手にした靈的宝を大切に扱えないのです。そして、くだらないことだけに時間とエネルギーを傾け、地上人生を無駄に過ごしています。一人一人に与えられた地上人生はそれほど長くはないのに、どうしてそんな無意味なことに時間を費やし続けるのでしょうか。

そうした人間ほど、「シルバーバーチだけにこだわるのは偏狭である」などと、もっともらしい屁理屈を言うものです。自分の考えの浅さ・傲慢さに気づいていないのです。

私達スピリチュアリストには「最高の靈的真理を知った」ということで、すでに大きな責任が発生しています。高級靈のこれまでの必死の導きを裏切り、無にするような行為は決して許されないのです。いつまでも、どちらでもいいようなことにこだわり続けてはなりません。せっかく与えられた“最高の靈的宝”をドブに捨てるようなことをしてはなりません。



靈的真理の啓示の恩恵に浴しながらも、なお自分中心の生き方に終始している人は、その怠慢に対する罰がそれだけ大きくなります。知らずに犯したのではなく、知っていながら犯しているからです。

(シルバーバーチは語る・76)

#### 4 || シルバーバーチのストレートなPRこそが「真実の人類愛の実践」

真実の愛の持ち主なら、そして本当に心の底から人々の幸せと靈的成長を願うなら、何の迷いもなく「最高の真理を一人でも多くの人々に教えてあげたい」と思うようになるものです。

今、皆さんがシルバーバーチの靈訓は人類にとって最高の宝・最高の教えであるとの確信があるならば、それをストレートに人々に伝えることこそ「最高の愛の実践」となるのです。

#### 靈的真理普及より、自分の見栄を優先する愚かさ

ところが世の中には、シルバーバーチの靈訓の価値を知りながら、わざわざ他の通信や宗教思想と同列に扱い、論じようとする人間がいます。そうすることで、さも自分は客観的で広い心・広い視野を持っているかのようなポーズをとるのです>(\*もし、その人が勉強不足か、あるいは靈性の低さゆえにシルバーバーチが最高であることを実感できないというのであれば話は別ですが……) そうした格好をつけた態度のどこに本当の愛があるのでしょうか。そこにあるのは、自分の優秀さを自慢したいという低俗な虚栄心だけです。

さらには、シルバーバーチの教えを適当にアレンジして作り替え、さも自分の考えのごとく人々にアピールする人間もいます。スピリチュアル・カウンセラーとしての自分自身の名声や人気取りのために、シルバーバーチの靈訓を利用するといったきわ

めて悪質な行為を行っている事実もあります。他人に靈的真理を伝えると言いながら、実際は人々を騙し、自分自身の人気を高めようとしているに過ぎません。スピリチュアリズムの知識を私利私欲やこの世の名声のために悪用するという卑劣な行為は、最も重大な靈的罪を犯すことなのです>(\*スピリチュアル・カウンセラー江原氏の問題については、いずれニューズレターで取り上げるつもりです。)

#### 自己中心の自己満足的伝道をしな

一方、シルバーバーチの教えは高すぎて一般の人には受け入れられにくいから、レベルを下げて窓口を広げる必要があると主張する人間もいます。そして、わざわざシルバーバーチを出さないようにするのは、

もし、そうした人間的な手段によって現実に多くの人々の心を靈的成長の道へと引き上げることができればなら何の問題もありません。しかし、そのやり方は靈的事実に照らしたとき明らかに間違っています。低い次元に降りていくことによって、より多くの人々に真理を伝えることができるという言い分は一応もっともらしく聞こえますが、その人は「靈界からの導き」や「靈的真理の受容時期」という真理の基本が全く分かっていないのです。



真理普及の主役は霊界の霊達です。そして地上人が真理を受け入れるには、一定の霊的レベルに至っているという条件を満たしていなければなりません。つまり時期のきていない人に対しては、どれだけ必死に伝道しても無駄ですし、どのような方法をもってしても受け入れられないということです。

言うまでもないことですが、講演会や大会を開催して大勢の人々に一度に真理を伝えようとしても無駄になるだけです。一時的な興奮と感動を与えることはできても、すぐに醒めて元通りになってしまいます。「霊的真理普及の鉄則」を忘れてはなりません。スピリチュアリズムは、時期のきた一人一人に真理が手渡される中で進展していくものなのです。真理の伝道についての基本を、シルバーバーチの次の言葉でもう一度確認しましょう。

(質問) 霊界側がスピリチュアリズムの普及を望んでおられるなら、もっと新聞などを使った宣伝をなさるとよいのではないのでしょうか。

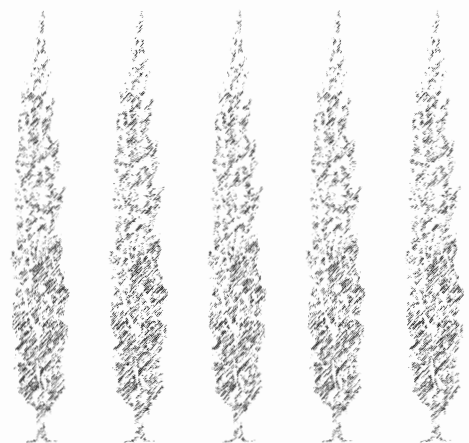
これは、これは驚きました。あなたは霊的知識の普及がどういうものかよくご存知ないようですね。知識が普及するということは結構なことです。しかし宣伝効果となると、また話は別です。魂が真理に目覚めて感動するには、それぞれに時機というものがあるのです。私たちは私たちなりの手段を講じています。計画はきちんと出来上がっているのです。あとはあなた方の世界からの協力が必要なのです。

(シルバーバーチは語る・61)

## 最もシンプルでストレートな人類愛の実践

そのような人々に共通するのは、他人の幸福より自分の見栄が優先しているということです。他人の霊的成長より自分の実績追求が大事なのです。知識の広さを誇っているつもりでいても、実際には真理の理解の浅さをさらけ出しています。愛の重要性を声高に叫んでいても、実は真実の愛ではなく、ただ自分を善人に見せたいということだけなのです。人々に奉仕しているポーズをとり、愛のある振りをしている、本当は自分自身を愛しているに過ぎません。

こうした人達は、せっかく与えられた「最高の人類愛実践のチャンス」を自ら捨て去っています。シルバーバーチを最高の教えだと信じるなら、その一番素晴らしいものを一人でも多くの人々に伝えることです。「シルバーバーチの霊訓という最高の教えがあります。関心があったら一度読んでみてください」とストレートに勧めればよいだけなのです。それが最も純粹でシンプルな愛の実践なのです。シルバーバーチのPRだけに徹すればよいのです。自分流にアレンジしたり、意味のない人間的な手段を講じる必要はありません。



## 5 || シルバーバーチの靈訓の普及による“地球の靈的革命”

最後に『シルバーバーチの靈訓』の普及が、今後の地球上にどのようにして“靈的革命”を引き起こしていくのか概観してみましょう。

### ニセ物を締め出し、スピリチュアリズムを浄化する

シルバーバーチの靈訓が広まることによって、これまでのようにいい加減な靈的知識を振りかざすニセ者や、いかがわしい現象を売り物にするニセ靈能者は一掃されることとなります。「最高の靈的真理」がスピリチュアリズムの中心となることによって、ニセ物や程度の悪いものは締め出され、存在できなくなっていくます。スピリチュアリズムそのものが浄化され、純化されていきます。

### スピリチュアリズムに対する人々の認識が根本的に変化する

これまでとかくスピリチュアリズムは心靈研究とか交霊会といったイメージで見られ、内面的な高次の靈的生き方とはおよそ懸け離れたものと思われてきました。

しかし、シルバーバーチの靈訓という「最高の靈的真理」が登場したことで、スピリチュアリズムに対する認識が変化していきます。スピリチュアリズムとは——「靈的真理を中心とする生き方である」との見方が徐々に定着し、従来の心靈現象から、高次の靈的真理・靈的教訓というイメージに変わっていきます。

\*イギリスのようにスピリチュアリズムの歴史が長いところでは、古い伝統を引きずったままです。いまだにスピリチュアリズムとは心靈現象・交霊会といったイメージが強く定着しています。

その点、日本は、かつての古いスピリチュアリズム（\*浅野式和風スピリチュアリズム）を一部の人々が引きず

っている以外は、すでにシルバーバーチに代表される高級靈の靈界通信（靈的知識）を中心とするスピリチュアリズムへと移行しつつあります。

### スピリチュアリズム全体の靈的レベルがアップし、本物のスピリチュアリズムが地球上に確立する

シルバーバーチの靈訓が広く普及することによって、シルバーバーチの主張する靈的真理の実践が徐々に定着するようになっていきます。もちろん、シルバーバーチの愛読者のすべてが真剣な実践者になるというようなことはありません。しかしシルバーバーチの愛読者が増えれば、それに比例して確実に実践者も増えていきます。やがて「靈的真理の実践こそが本物のスピリチュアリズムである」との認識がしっかりと定着するようになります。

シルバーバーチの靈訓の普及によって、真理の実践を中心とする高次の靈的人生という本物のスピリチュアリズム——すなわち“ハイレベル・スピリチュアリズム”が徐々に確立していくことになるのです。





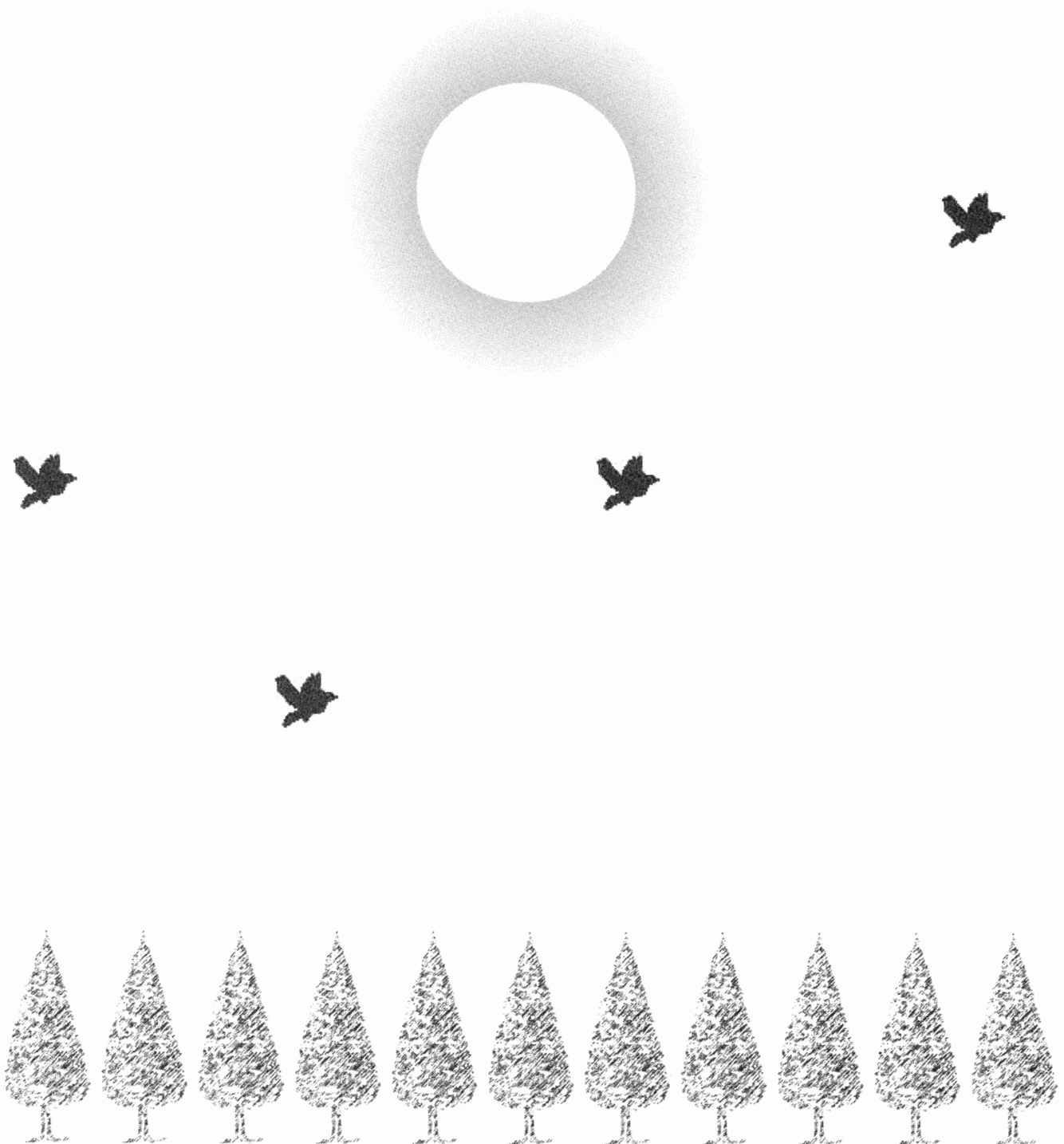
---

## 人類全体の霊性レベルが向上する

シルバーバーチの霊訓という最高の霊的真理を実践する日本人が一人増えることは、それだけ日本全体の霊的な上限ラインが広がることを意味します。同時に、それは日本だけでなく地球全体の霊的レベルの頂点を押し広げ、強化することになっています。

シルバーバーチの教えの実践者は、地球の最高次元の霊的レベルに打ち込む楔<sup>くさび</sup>のような存在なのです。

シルバーバーチの霊訓の実践者が一人また一人と増えることによって、地球の最上限の霊的レベルが拡大し、地球全体の霊性レベルそのものが向上することになります。



# “ライブドア騒動”を靈的視点から見ると

## 敵対的M & Aは、押し込み強盗と同じ

“ライブドア”によるニッポン放送株買収の騒動が話題となっています。ライブドアの堀江氏がしていることを一言で言うならば——「他人が苦勞して作り上げてきた企業を商品化し、金の力を武器にして奪い取ろうとする強盜的行為」ということです。本質的には、押し込み強盗と同じことなのです。

こうした行為は、神の摂理（\*特に利他愛の摂理）に大きく背いていることは、今さら言うまでもありません。人間の道徳的常識としても許されることはありません。まさに、「物質至上主義」と「利己主義」による地球上の支配を浮き彫りにした一つの出来事なのです。

しかし、そのような悪事が、現在の地球では堂々とまかり通るようになっていきます。ライブドアがしようとしている敵対的M & A（\*M&Aとは、企業買収のことです）は、世界の先進国ではたびたび見られます。今後、そうした動きは日本でも拡大していくと予想されます。

## グローバリズムの申し子—堀江氏

今回のライブドアによるM & Aに対して、海外のメディアはライブドアに好意的姿勢を示しています。「日本の年寄り社会が意欲ある若者をいじめている」といったイメージでとらえ、日本社会がグローバル・スタンダードから遅れをとっていると批判しています。

堀江氏は、まさにグローバリズムの申し子・グローバリズムの寵児ちやうじといってもいいような存在です。アメリカを中心とするグローバリズムの観点からすれば、堀江氏がしていることは当たり前のことであり、それを潰そうとする反対派は間違った時代遅れの勢力ということになります。

## 現代のグローバリズムがもたらす地球上の悲劇

グローバリズムは、ヒト・モノ・カネが国境を越えて自由に行き来できるようにし、世界経済の一体化を促進するという、いかにも国際化時代における素晴らしい理念のように映ります。しかし物質至上主義と利己主義支配の現在の地球にあっては、そうした理想とは全く逆の醜い現実を出現させることになっています。

現在のグローバリズムは、市場原理とマネーゲームによって、地球全体を無軌道なメガ競争に巻き込んでいます。その結果、一部の力のある企業や個人にのみ物質的富が集中するようになり、世界規模で貧しい国家・貧しい人々を生み出すことになっています。貧しい人々の富を、裕福な人間が無情に吸い上げ、貧困はますます深刻化するようになっているのです。

また、世界経済全体がアメリカの消費ぜいたく（贅沢）に依存し、これによって支えられるといった異常な状況を巻き起こすことになっています。もしアメリカの景気が悪化すれば、世界規模で経済危機が表面化するようになります。

グローバリズムの進展は、世界人類の幸福を進めたのではなく、反対に不幸と貧困と不安をいっそう拡大させることになりました。「利他愛」の上に立ったグローバリズムは世界中の人々を幸せにしますが、現在のような「物欲主義・利己主義」に立ったグローバリズムは地球を地獄おとしに貶めるだけなのです。地球全体の世界市場化を目指すグローバリズムは、“独り勝ち”したほんの一部の人間がすべての富を奪い独占し、多くの人々を貧困の中に追いやることになるのです。

## 靈的に間違っている現在のグローバリズム

自由化・規制緩和・市場開放の新自由主義路線のもとで進められている現在のグローバリズムは、剥き出しの「欲望資本主義」となり、地上人類を靈的成長からさらに遠ざけることになっています。現代のエゴ的グローバリズムは、一部の企業や個人に富をもたらす一方で、多くのアメリカ企業や国民をも窮地に追いやっています。そしてアメリカそのものを内部から弱体化させることにもなっているのです。

現在のグローバリズムは、明らかに「神の摂理」から外れています。地球上に存在してはならないものなのです。グローバリズムにともなう“マネーゲーム”は、人間の欲望追及を極限にまでエスカレートさせた最も利己性の強い行為なのです。

間違ったグローバリズムは、マネーゲームという極端な利己的行為を引き起こし、「カネさえあれば何でもできる」という、人間を墮落させる思考を社会に蔓延させることとなります。嫌がる相手企業を、カネに任せて（\*カネを外部から調達して）乗っ取ろうとする行為は、「神の摂理」に照らしたとき決して許されるものではありません。それは人間のつくった法律では適法であっても、また狂ったグローバリズムの基準では正しいとされても、靈的には間違っています。

## 経済活動には歯止めと規制が必要

肉体の欲望追求に対して一定の禁欲が必要なのと同様、経済活動に対しても、常に一定の歯止めと規制が必要なのです。資本主義の無制限の肥大化は、地球そのものを滅ぼすことになってしまいます。資本主義には、勝手気ままな欲望追求ができないようにするための制約が不可欠なのです。現在のグローバリズムは、それとは全く逆のことをして、すべて

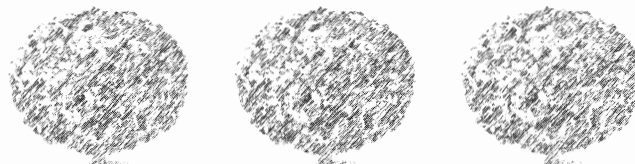
の制限を取り払い、欲望追求を極限にまで押し進めようとしているのです。

堀江氏を賞賛する海外メディアも、賞賛される堀江氏自身も、この間違ったグローバリズムを“絶対善”としています。そして、このニセの理念の上立ってマネーゲームを正当化し、他人の富を奪おうとしているのです。攻撃を受けたサンケイグループがその強盗から身を守るために、違法すれすれの対抗策を取ろうとしたとしてもそれを責めることはできません。（\*ただし、大企業であるサンケイグループが企業買収の可能性を想定していなかった無防備さは非難されるべきでしょう。）

## 靈的摂理に近い従来の日本企業の在り方

マネーゲームの支配するところでは、人間として大切な“心”そのものを踏みにじることとなります。心よりモノを重視し、心を全く無視することになります。今回のライブドア騒動は、グローバリズムの尖兵としての堀江氏が、自分達の企業に愛着を持ち、連帯性や心のつながりを重視する日本企業の在り方に対して挑戦状を突きつけたこととなります。

現在の先進国では、ライブドアのような路線が主流になりつつありますが、神の前ではどこまでも間違っている以上、ライブドアの主張や野心を阻止しようとするのは正しいのです。利己性の極みまで至ってしまった資本主義・グローバリズムに歯止めをかけなければなりません。日本企業の在り方のすべてが摂理に合っているわけではありませんが、「利己性が少ない」という意味で、グローバリズムよりはずっとましなのです。これまでの日本企業の在り方は、決して古臭いではありません。心と愛と連帯を重視する方向性は「神の摂理」に近いのです。



## 大手マスコミにも問題

今回のライブドア騒動に対して、いつ同じような立場に立たされることになるかも知れない大手マスコミ（新聞社・テレビ局）は、サンケイグループサイドに立ってライブドアを非難しています。そしてメディアの公共性という点で、堀江氏には大きな問題があると批判しています。

もちろんこうした見解は正しいのですが、視聴率だけを意識して中身のないバラエティー番組ばかり放送している民放TV局の現実を見るかぎり、そうした言い分に説得力を感じることはできません。その意味で今回の騒動は、テレビ局に対しては、よい意味での一石を投じたことになったのではないのでしょうか。



# スピリチュアリズム・ビデオ&テープ ライブラリー

## VIDEO

### ビデオ『地球人類の霊性進化の道 “スピリチュアリズム”』

— 霊的真理のエッセンス・真理編 —

(価格)

「真理編・前編」 2時間テープ 1本……2000円

「真理編・後編」 2時間テープ 2本……3500円

※別途、送料がかかります。

※ビデオは、VHSとS-VHSの2つのタイプがあります。どちらかをご指定ください。  
S-VHSのタイプの方が、よりきれいに映りますが、専用デッキでないと再生できません  
のでご注意ください。

## TAPE&CD

### スピリチュアリズム関連書籍

#### 朗読テープ

「スピリチュアリズム入門」 90分テープ 4本……2,000円

「続スピリチュアリズム入門」

90分テープ 5本

60分テープ 1本

計6本……2,800円

「500に及ぶあの世からの現地報告」

90分テープ 8本……3,500円

#### 朗読CD

「スピリチュアリズム入門」 74分 CD 5枚……3,000円

「続スピリチュアリズム入門」 74分 CD 7枚……4,000円

「500に及ぶあの世からの現地報告」

74分 CD 10枚……5,500円

※いずれも別途、送料がかかります。

## ❖ スピリチュアリズム・ライブラリー ❖

スピリチュアリズム・サークル「心の道場」では、スピリチュアリズム精選シリーズとして、下記の本を自費出版しています。

- ◆スピリチュアリズム入門 (169頁)  
ースピリチュアリズムが明かすー「心靈現象のメカニズム&すばらしい死後の世界」
  - ◆続スピリチュアリズム入門 (256頁)  
ー高級靈訓が明かすー「靈的真理のエッセンス&靈的成長の道」
  - ◆スピリチュアリズムの真髄「現象編」(297頁)  
『The Mediums' Book』 アラン・カルデック編著/近藤千雄 訳
  - ◆スピリチュアリズムの真髄「思想編」(357頁)  
『The Spirits' Book』 アラン・カルデック編著/近藤千雄 訳
  - ◆500に及ぶあの世からの現地報告 (437頁)  
ーエクトプラズムボックスを通じて明らかにされる死の直後の実生活ー  
『Life After Death』 ネヴィレ・ランドル著/小池 英 訳
  - ◆マイヤースの通信ー永遠の大道 (全訳) (271頁)  
『The Road to Immortality』 G・カミンズ著/近藤千雄 訳
  - ◆マイヤースの通信ー個人的存在の彼方 (全訳) (304頁)  
『Beyond Human Personality』 G・カミンズ著/近藤千雄 訳
  - ◆靈訓 (完訳・上) 『The Spirit Teachings』 (225頁)  
ステイントン・モーゼス著/近藤千雄 訳
  - ◆靈訓 (完訳・下) 『The Spirit Teachings』 (260頁)  
ステイントン・モーゼス著/近藤千雄 訳
  - ◆シルバーバーチは語る (443頁)  
『Teachings of Silver Birch』 A. W. オースティン編/近藤千雄 訳
  - ◆シルバーバーチの靈訓  
ースピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべー  
『A Voice in the Wilderness』 トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
  - ◆シルバーバーチの靈訓  
ー地上人類への最高の福音ー  
『The Seed of Truth』 トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
  - ◆シルバーバーチの靈訓 ー靈的新時代の到来ー 『The Spirit Speaks』  
トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
- 〈現在絶版となっている書籍の復刻予定〉
- ◆ジャック・ウェバーの靈現象 『The Mediumship of Jack Webber』  
ハリー・エドワーズ著/近藤千雄 訳
  - ◆妖精物語 『The Loming of the Fairies』  
A・コナン・ドイル著/近藤千雄 訳

## 第4回 公開ヒーリングのお知らせ

日本スピリチュアル・ヒーラーグループによる第4回目の「公開ヒーリング」の日程が決まりました。開催日は6月5日（日曜日）、会場は“フォーラムよこはま 会議室 1”——ランドマークタワーの13階です。

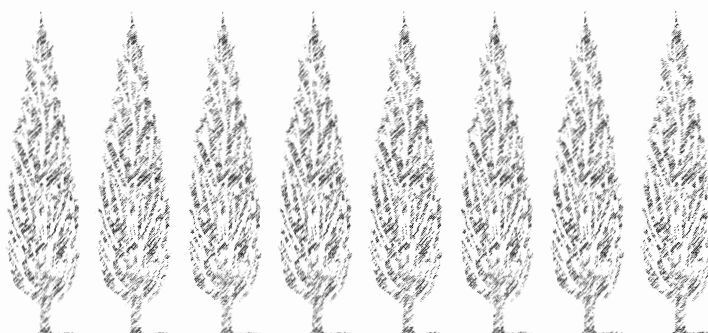
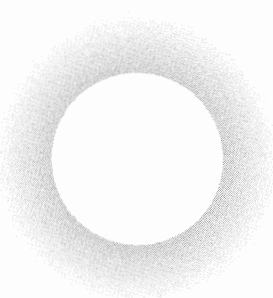
定員は60名です。お申し込みは、日本スピリチュアル・ヒーラーグループまで電話でお願いいたします。（受付は、月曜日と金曜日の午後1～6時です。）申し込みの締め切りは、5月23日（月曜日）です。

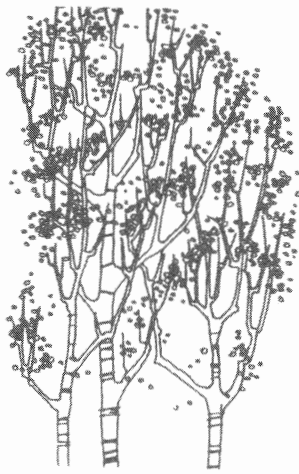
詳細については、ヒーラーグループのホームページをご覧ください。

日本スピリチュアル・ヒーラーグループ

TEL 052-801-5925

※公開ヒーリングについてのお問い合わせも上記の時間内をお願いいたします





*Spiritualism Circle*  
***Kokoro no Dojo***